

平成 24 年度

適性検査 1 — 1

問 題 用 紙

1 まさみさんとあつしさんは、小学校でボランティアクラブに入っています。ボランティアクラブでは、「小学生にもできる国際貢献」について調べることになりました。あとの(1)~(5)の問いに答えなさい。

まさみさんとあつしさんは、「小学生にもできる国際貢献」の手がかりを探しに出かけ、近くのスーパーマーケットに入ってみました。

まさみ：このチョコレート、「フェアトレード ~買い物で国際貢献~」と書いてあるわよ。

あつし：え、チョコレートが国際貢献に関係あるの。

まさみ：ふだん買っている同じ大きさの板チョコよりも、30円くらい高いわ。

あつし：本当だ。でも、「フェアトレード」って何だろう。

まさみさんとあつしさんは、図書館へ行って本やインターネットで「フェアトレード」について調べ、資料1のようにメモをし、さらに表1を見つけました。

資料1 「フェアトレード」についてのメモ

- 開発途上国^{とじょうこく}*1の生産者の暮らしを良くしていこうとする貿易のしくみ。
- フェアトレード団体といわれる利益を目的としない団体が、開発途上国の生産者と、先進国^{せんしんこく}*2に住むわたしたち消費者とを結びつけている。
- 生産者の住む地域^{ちいき}に、橋や道路^{いど}、井戸や集会所などの共同施設^{しせつ}をつくることや、生産者への技術的^{えんじよ}な援助^{えんじよ}を行うための費用^{しゅうにゆう}を、生産者の収入となる金額に上乗せしているため、商品の価格は高くなりがちである。
- 農薬や化学肥料を使わないなど、環境^{かんきょう}に配慮^{はいりよ}した商品作りをしている。
- チョコレート以外にも、コーヒー、衣類、サッカーボールなどがある。

※1 開発途上国：これから豊かになろうと国づくりをすすめている国。

※2 先進国：政治^{けいざい}、経済^{けいざい}、文化などが進んでいる国。

表1 販売^{はんばい}する価格の中で、生産者の収入となる金額 (250g入りコーヒーの場合)

	通常 ^{とじょう} のコーヒー	フェアトレード・コーヒー
販売する価格	288~480円	368~536円
生産者の収入となる金額	24.0円	99.2円

(「OECD Papers, No. 383」より作成)

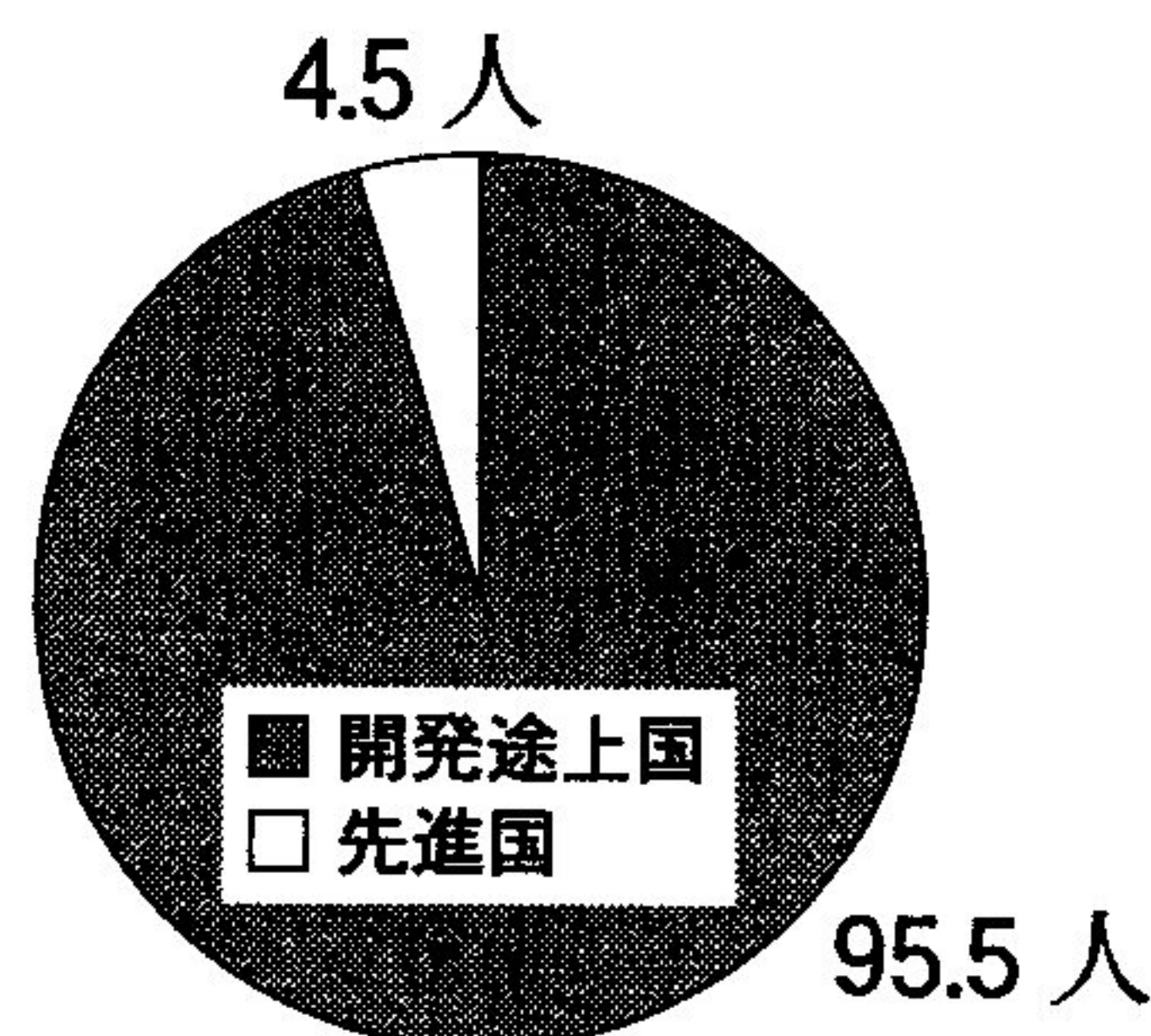
(1) 消費者がフェアトレード商品を買うことは、開発途上国の生産者の暮らしを良くしていくことに、どのようにつながるのですか。資料1と表1を参考にして、下の[書き方の例]にならって、この例以外のことがらを3つ書きなさい。

[書き方の例] 生産者の(技術)を[高める]。

あつし：開発途上国の人びとは、いったいどんな暮らしをしているんだろう。
 まさみ：どのような問題があるのか、もう少し詳しく調べてみましょうよ。

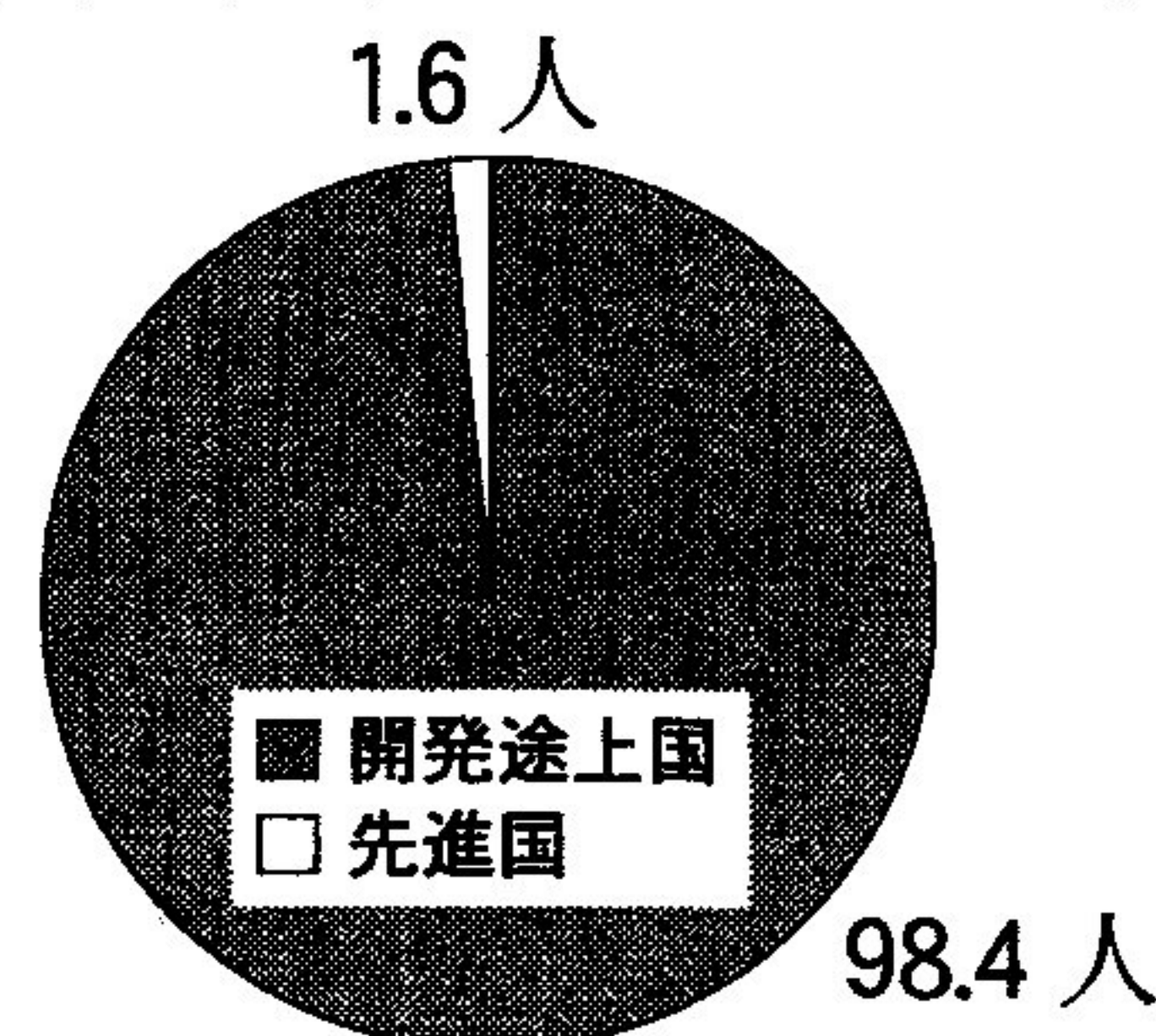
まさみさんとあつしさんは、次の[ア]～[エ]の図や表、資料を見つけました。

[ア] 小学校に通えない子どもの数を世界全体で100人としたときの開発途上国と先進国での人数



(EFA「Global Monitoring Report 2011」より作成)

[イ] 5歳未満で死亡した子どもの数を世界全体で100人としたときの開発途上国と先進国での人数



(「世界子供白書特別版 2011」より作成)

[ウ] 国民1,000人あたりの医師の数

開発途上国	0.94人
先進国	2.83人

(WHO「The World Health Report 2006」より作成)

[エ] 開発途上国の水くみの現状 (事実をもとにして作られた物語の一部)

日本から開発途上国をたずねた「地球調査隊」の隊員Aさんが、川のほとりにいた現地の子どもBさんに話しかけました。

A：ねえ、何をしてるの。

B：水くみよ。家族みんなで使うの。

A：水道とかないんだ、大変そう。手伝おうか。

(この後、いっしょに家まで歩いて水を運ぶ。)

A：やっと着いた。すごく長い時間かかったね。

B：でも、あと3回はやらないといけないのよ。

A：水くみで1日が終わっちゃうよ。学校にも行けないし。毎日やるの。

B：うん、わたしが水をくんでこなければ、家族が生きていけないの。

このように苦勞してくんだ水も、けっして安全なものとはいえず、下痢げりになったり、それが悪化して死んでしまうことも多いそうです。



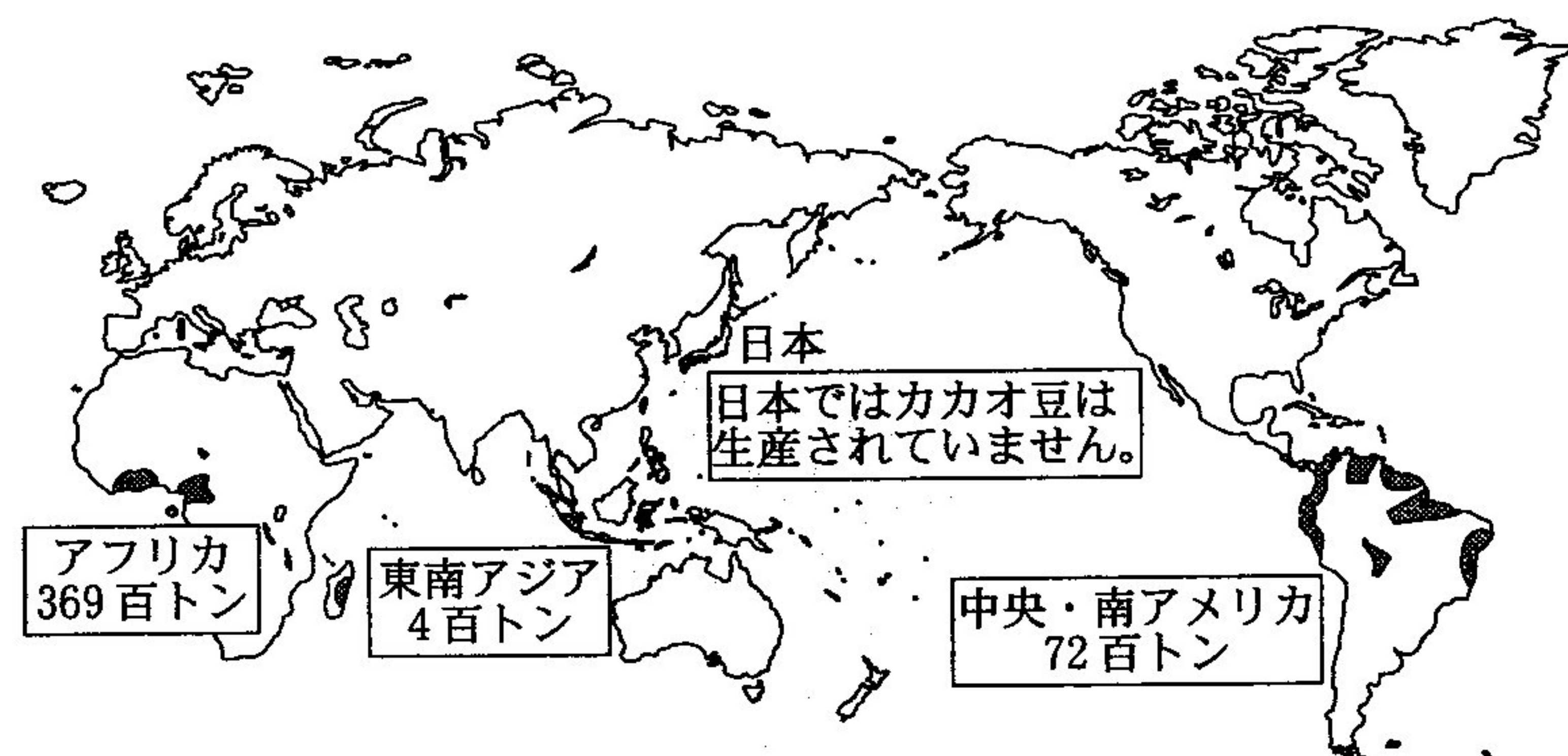
(JICA ぼくら地球調査隊ホームページより作成)

(2) [ア]～[エ]の図や表、資料に表されている開発途上国の問題点は、どのようにしたら解決していくと思いますか。[ア]～[エ]の中から2つを関連させ、あなたが考える「解決方法とその効果」を2通り書きなさい。なお、[ア]～[エ]のうち、どの2つを関連させたかがわかるように、解答らんの記号に○をつけること。

さらに、まさみさんとあつしさんは、フェアトレードが開発途上国の生産者と、先進国に住むわたしたち消費者とを結びつけている、ということについて、チョコレート为例にくわしく調べ、次の図1、資料2、資料3のようにまとめました。

図1 日本のカカオ豆*輸入先(2010年)

*カカオ豆：チョコレートやココアの原料で、カカオの木の果実の中にある種子のこと。



(財務省貿易統計ホームページおよび日本チョコレート・ココア協会ホームページより作成)

資料2 フェアトレードが行われていないカカオ農園のようす

西アフリカのカカオ農園では小さい家族経営の農園が多く、栽培技術やカカオ豆を売るための知識が少ないため、経営が安定しないという問題があります。また、子どもが自分の家の農園で農薬をまく仕事をすることもあり、健康被害の危険があることも報告されています。

(岩附由香他『わたし8歳、カカオ畑で働きつづけて。一児童労働者とよばれる2億1800万人の子どもたち』より作成)

資料3 フェアトレードのカカオ豆を生産している農業協同組合のようす

エルセイボは、フェアトレードのカカオ豆を栽培している農家の組合員により運営される、ボリビア*1の農業協同組合です。エルセイボの農家のあいだでは、カカオ栽培に関する知識や技術を分かち合い、化学肥料や農薬を使わずにカカオを栽培するなど、品質向上をめざしています。わたしたちのカカオは、大切に育てられた木から選び抜かれ、ていねいに発酵*2・乾燥されます。より安定した生活を求めた末、国内外から高い評価を得る、ボリビアを代表するカカオ生産組織へと成長していきました。



*1 ボリビア：南アメリカに位置する国。

*2 発酵：微生物のはたらきによって、物質の成分が変化すること。

(エルセイボホームページより作成)

まさみ：チョコレートの原料が、どこから来るかわかるわね。

あつし：フェアトレードについて知ること、アということに気づいたよ。

まさみ：そうね、今まで生産者のことなど考えずにチョコレートを食べていたのね。

(3) あつしさんはどのようなことに気づいたと思いますか。 **ア** に入ると思われることを、図1、資料2、資料3から考えて書きなさい。

最後に、まさみさんとあつしさんは、「小学生にもできる国際貢献」についてボランティアクラブで報告をするために、フェアトレードに対する日本の消費者のかかわりについても調べ、次の図2と表2を見つけました。

図2 国民一人あたり1年間のフェアトレード商品購入額(円)

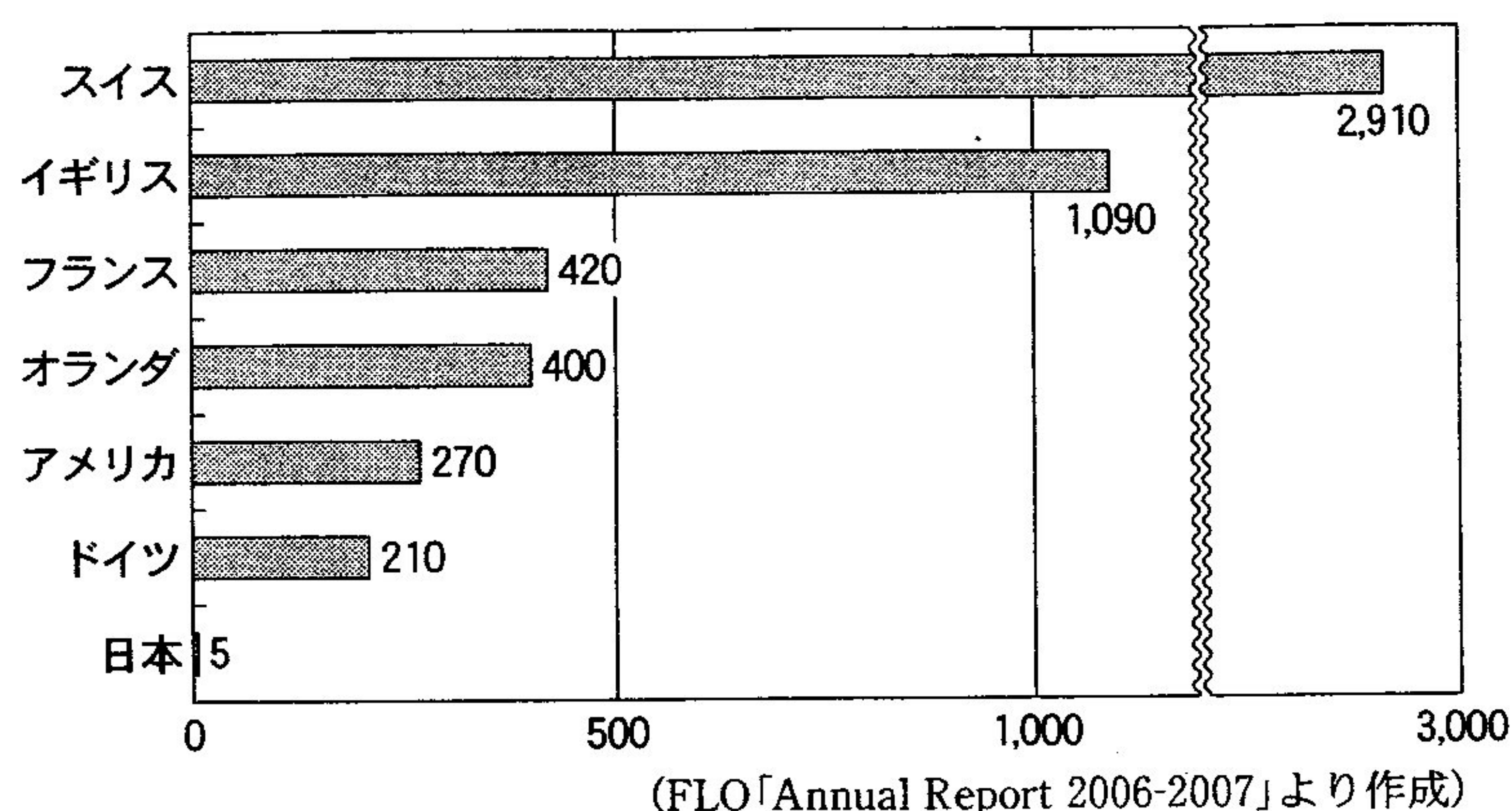


表2 日本でのフェアトレード商品の購入に関する意識(%)

フェアトレードを知らないためわからない	57.1
同品質で他の製品よりも低価格ならフェアトレード製品を購入する	16.7
同品質で同価格なら他の製品よりもフェアトレード製品を購入する	15.4
同品質なら少々高くても他の製品よりもフェアトレード製品を購入する	6.1
価格の高低にかかわらずフェアトレード製品を購入しない	4.7

(内閣府「国民生活選好度調査 2008」より作成)

あつし：図2から、フェアトレード商品が日本であまり売れていないことがわかるね。その理由は、表2を見ると、日本では、フェアトレードを知らない人がとても多いからだろうね。

まさみ：それだけではなくて、表2からは、高くてもフェアトレード商品を購入するという人が、フェアトレードを知っている人の中で **イ** %しかないこともわかるわよね。

あつし：フェアトレードを広めるために、ぼくたちに何かできることはないかな。

(4) **イ** に入る数字を、四捨五入して小数第1位までのがい数で書きなさい。

(5) あなたは、フェアトレードを広めるためには、どのようにしたらよいと思いますか。小学校のボランティアクラブとしてできることを考えて、具体的に書きなさい。

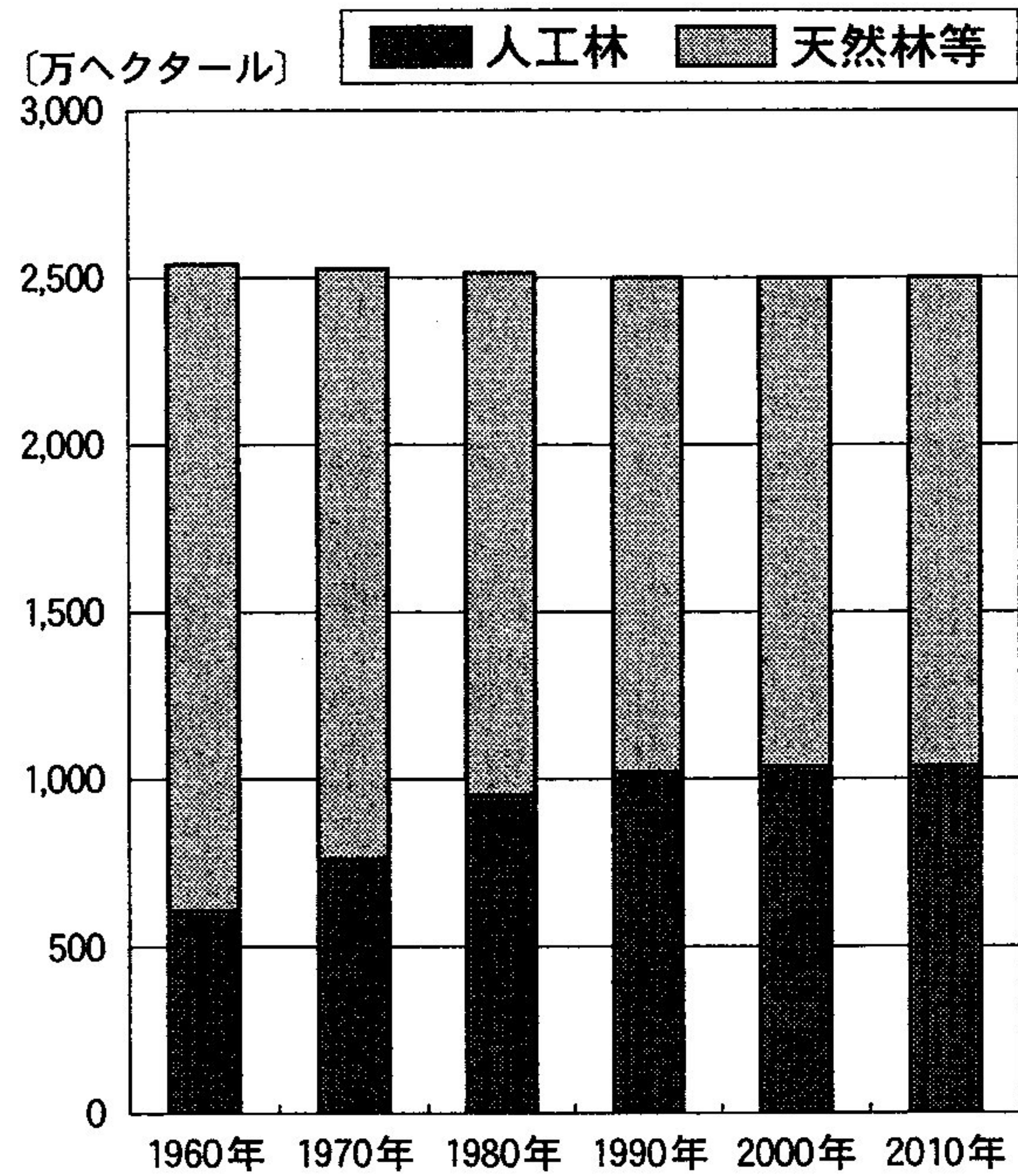
2 としきさんの学級では、総合的な学習の時間に学習するテーマを、^{はん}班ごとに探^{さが}すことになりました。としきさんの班は、今年が国際連合で定めた「国際森林年」だということから、森林について関心を持ち、いろいろな本やインターネットで調べているうちに、次の表、図1～図3を見つけました。としきさんたちは、この表、図1～図3をもとに、「日本の森林と環境問題」^{かんきょう}について話し合いを始めました。あとの(1)、(2)の問いに答えなさい。

表 世界各地域^{ちいき}の森林面積の増加・減少
(無印は増加, △印は減少)

	1990年から 2000年まで (万ヘクタール)	2000年から 2010年まで (万ヘクタール)
世界全体	△ 8,323	△ 5,211
アジア	△ 595	2,235
オセアニア	△ 36	△ 700
北・中央アメリカ	△ 289	△ 10
南アメリカ	△ 4,213	△ 3,997
ヨーロッパ	877	676
アフリカ	△ 4,067	△ 3,415

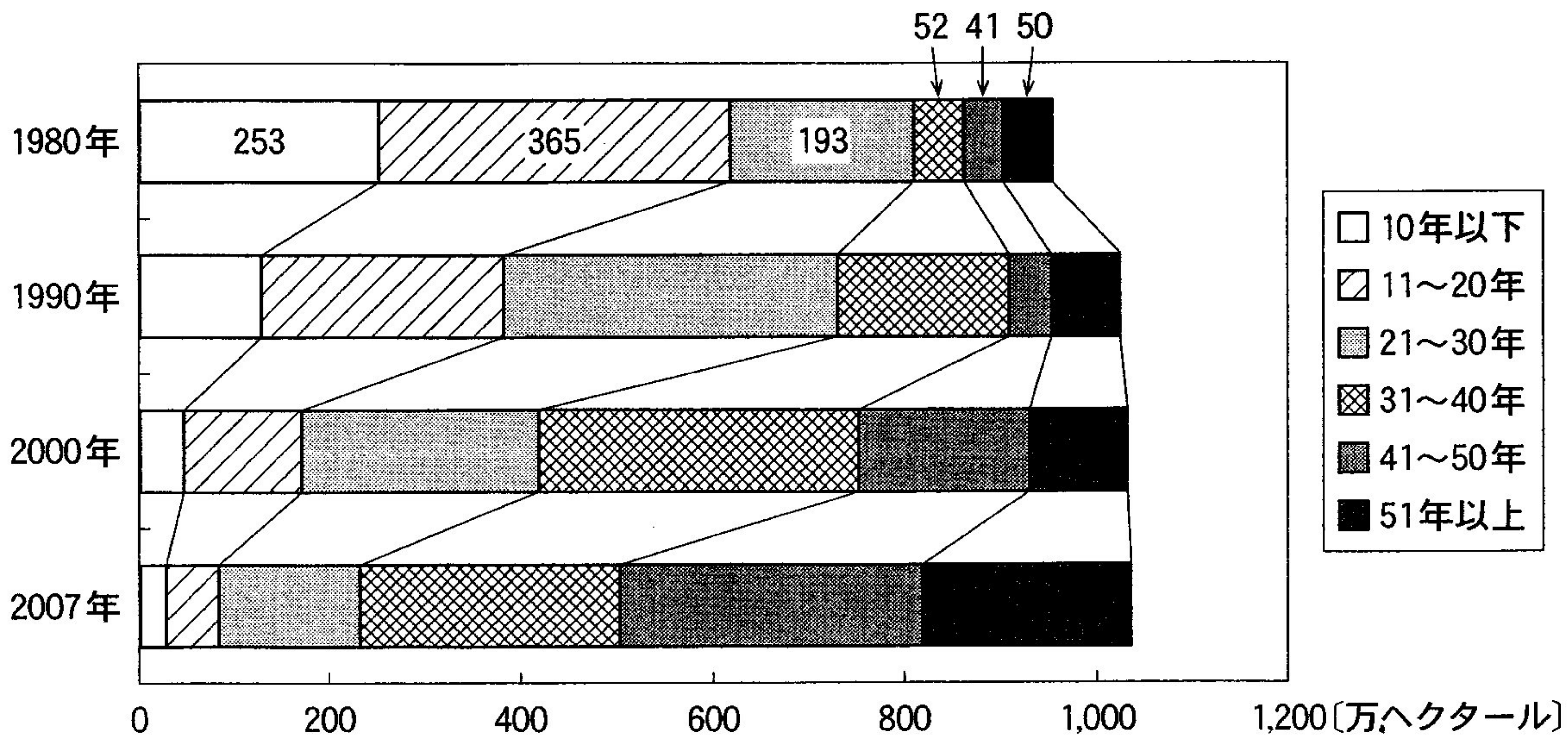
(国連食糧農業機関『世界森林資源評価 2010』より作成)

図1 日本の森林面積



(『ポケット農林水産統計』および国連食糧農業機関『世界森林資源評価 2010』より作成)

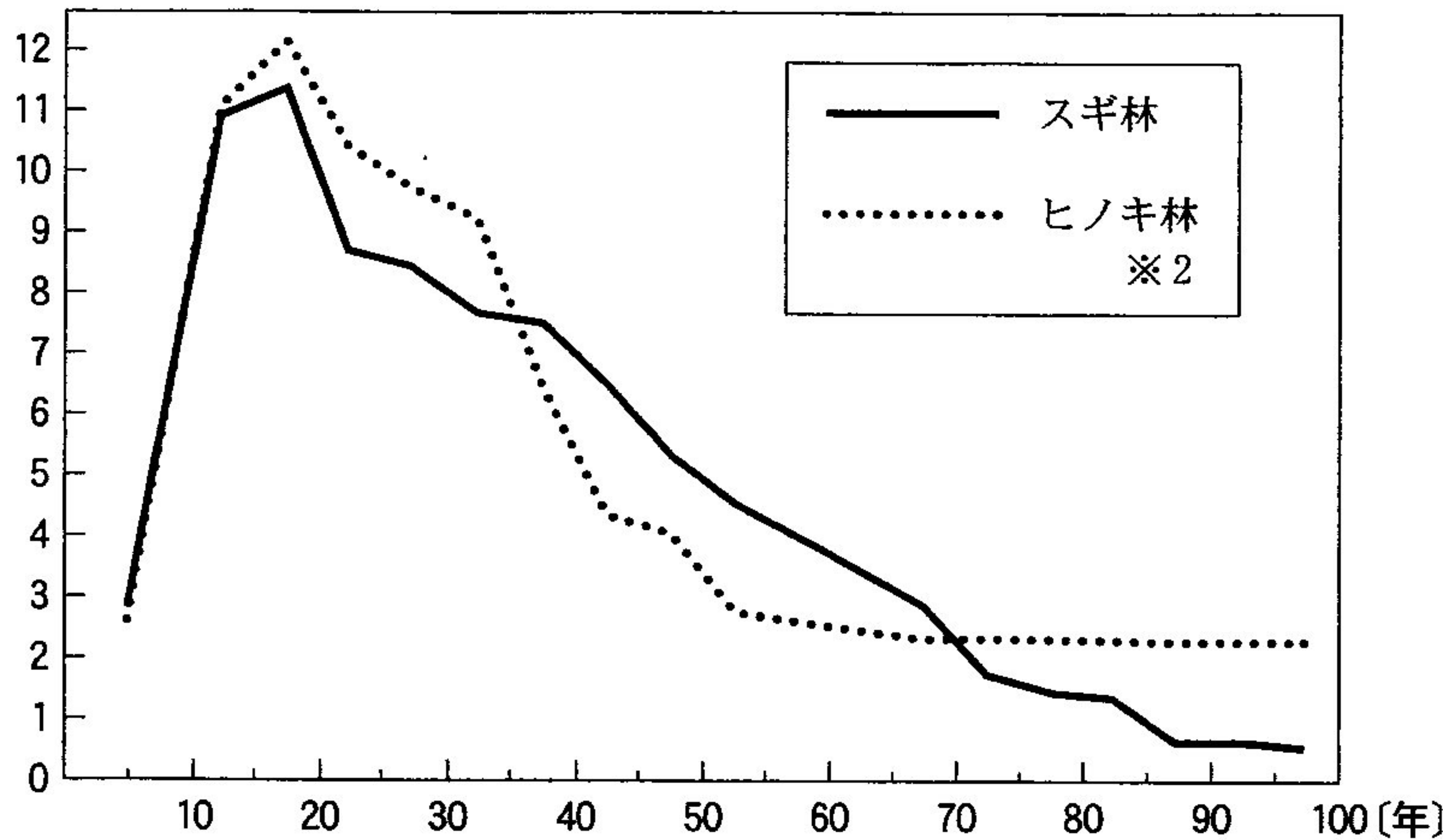
図2 日本の人工林における、森林の年齢ごとの面積



(『ポケット農林水産統計』より作成)

図3 森林の年齢による二酸化炭素^{きゅうしゅうりょう}吸収量の変化

〔二酸化炭素トン/ha・年〕※1



(千葉県ホームページより作成)

※1：二酸化炭素トン/ha・年とは、1年間に1ヘクタールの森林が吸収する二酸化炭素の量を、二酸化炭素の重さで表したものの。

※2：スギ林とヒノキ林で、日本の人工林の69%をしめている。

としき：表のように、世界全体で見ると森林が減っているのは大きな問題だよな。

森林が減ると二酸化炭素の吸収が減って地球温暖化^{おんだんか}が進んだり、森林の生き物が失われたり、砂漠化^{さばくか}が進んだりというように、環境問題がいつそう深刻化^{しんこくか}してしまうよ。日本は、図1のように森林の面積はほとんど減っていないから、木を切らずにこのまま森林を守っていきたいね。

ゆうか：表で、アジアは減少から増加に大きく変わっているわ。日本は図1を見ると、その時期のアジアでの森林面積の増加には関係がないようだから、たぶん、どこかの国でたくさん木を植えたのね。日本でも、むかしはたくさん木を植えたということが、図1と図2からわかるわ。

あきら：としきさんの言うように、森林は二酸化炭素を吸収してくれるよね。でも図2と図3から考えると、日本の森林では ア ということがわかるね。

しずの：としきさんは、「木を切らずにこのまま森林を守る」と言ったけれど、ゆうかさんとあきらさんが気づいたことから考えると、日本の場合は森林の守りかたがちがうのではないかしら。実際に確かめてみましょうよ。

(1) 日本でも、むかしはたくさん木を植えたとありますが、もっとも多く木を植えたのはいつごろだったと考えられますか。「19()0年代」※のかたちで答え、そのように考えた理由も書きなさい。※たとえば1950年代とは、1950年から1959年までのこと。

(2) ア に入ると思われることを、図2と図3から考えて書きなさい。

としきさんの班は、山村で林業をいとなむ人のところへ取材に行き、インタビューの内容を次の資料のようにまとめました。また、写真1、写真2、図4は取材で得たもの、図5は取材後に作成中のものです。あとの(3)~(5)の問いに答えなさい。

資料 インタビューのまとめ

Q 日本の森林には、今、どのような問題がありますか。

A 手入れがされていない荒れた森が、たくさんあることだね。人工林では、木を植えて終わりではなく、育てるあいだに手入れが必要だ。写真1で地面に積んであるのは、「間伐材」だ。木を育てるときに特に大切なのが「間伐」で、森が混んできたら一部の木を切り、残った木の成長をうながしてやるんだ。写真2は間伐をしていない森の写真で、図4のように木が折れたりしてしまう。また、日光が入らず、草が生えないから、イということにつながってしまうんだ。今は、輸入の木材におされて木材価格が安く、収入が少ないので、なかなか森の手入れにお金をかけられないのだが、木材や間伐材は、山の恵みだ。わたしたちが都会に送るので、どんどん使ってほしい。そして、お金がわたしたちにもどってくれば、わたしたちは森の手入れを十分にすることができるようになる。

Q 間伐材は、どのように使うのですか。

A 柱の材料には向かないが、使いみちとしてみんなが一番よく目にするものは、わりばしだろうね。わりばしは森林破壊につながり、環境に良くないと思われているが、全部がそうというわけではないよ。また、間伐材も木材も、森で吸収された二酸化炭素をためこんで保管してくれるので、「二酸化炭素のかんづめ」とたとえられている。環境のためには、なるべく長く使うようにしたいね。

Q 日本で森を守るために、大切なことは何ですか。

A 人がいちど手を加えた森には、ずっと手を加え続けることだ。油田は石油が出なくなったら終わりだが、木を切った森はそのままにせず、苗を植えてよみがえらせる。ただ、木はすぐには収穫ができない。スギは早くて40年、立派なヒノキは100年がかりだ。だから、木は自分のために植えるのではない。子孫のためだ。今切って使う木は、祖先が残してくれたものなので、祖先に感謝をして切る。そして、元にもどるように森を育て、大切な資源を未来に受けつぐのがわたしたちの仕事だ。この「森のリサイクル」が、森を守るんだよ。

写真 1

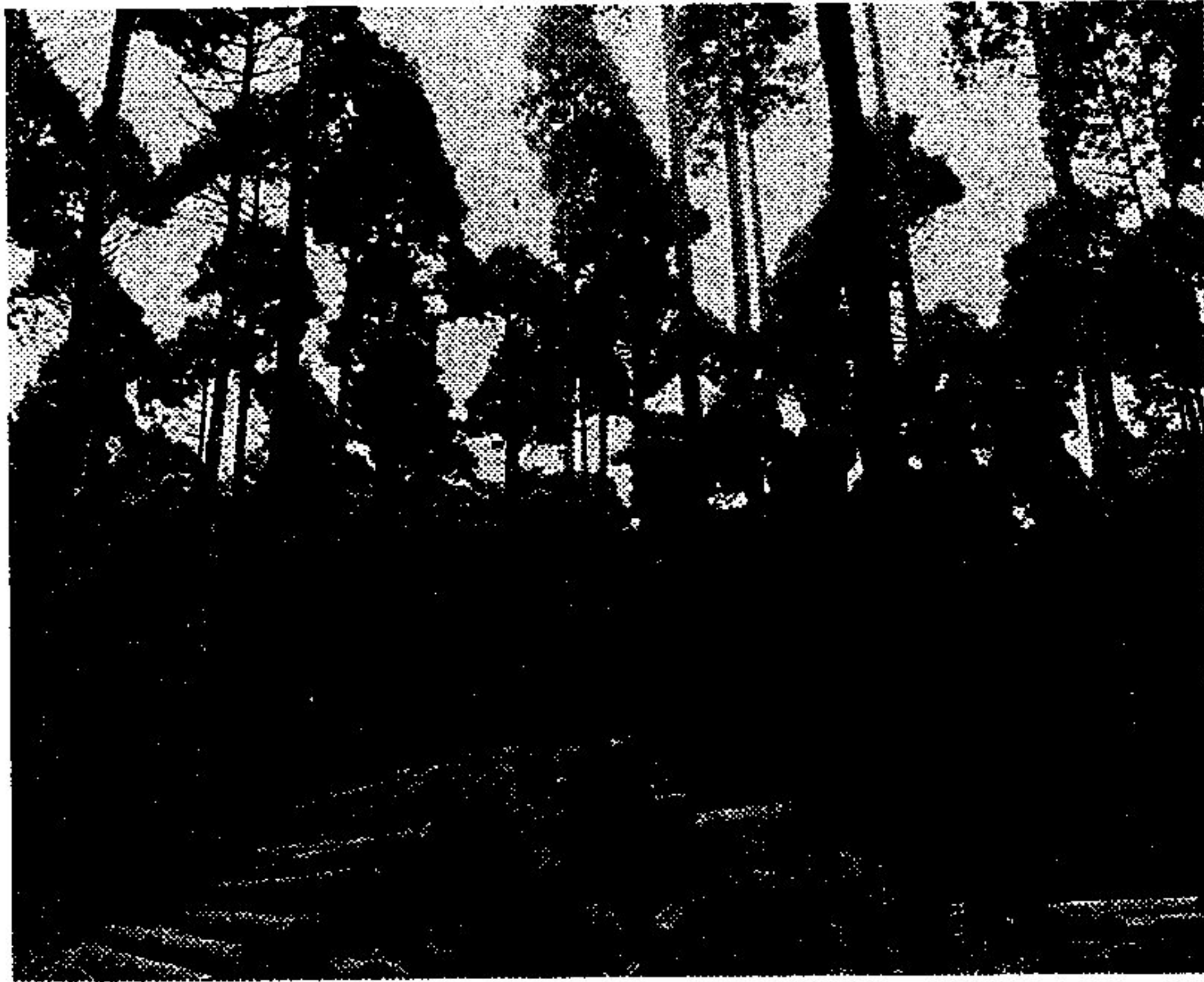


写真 2

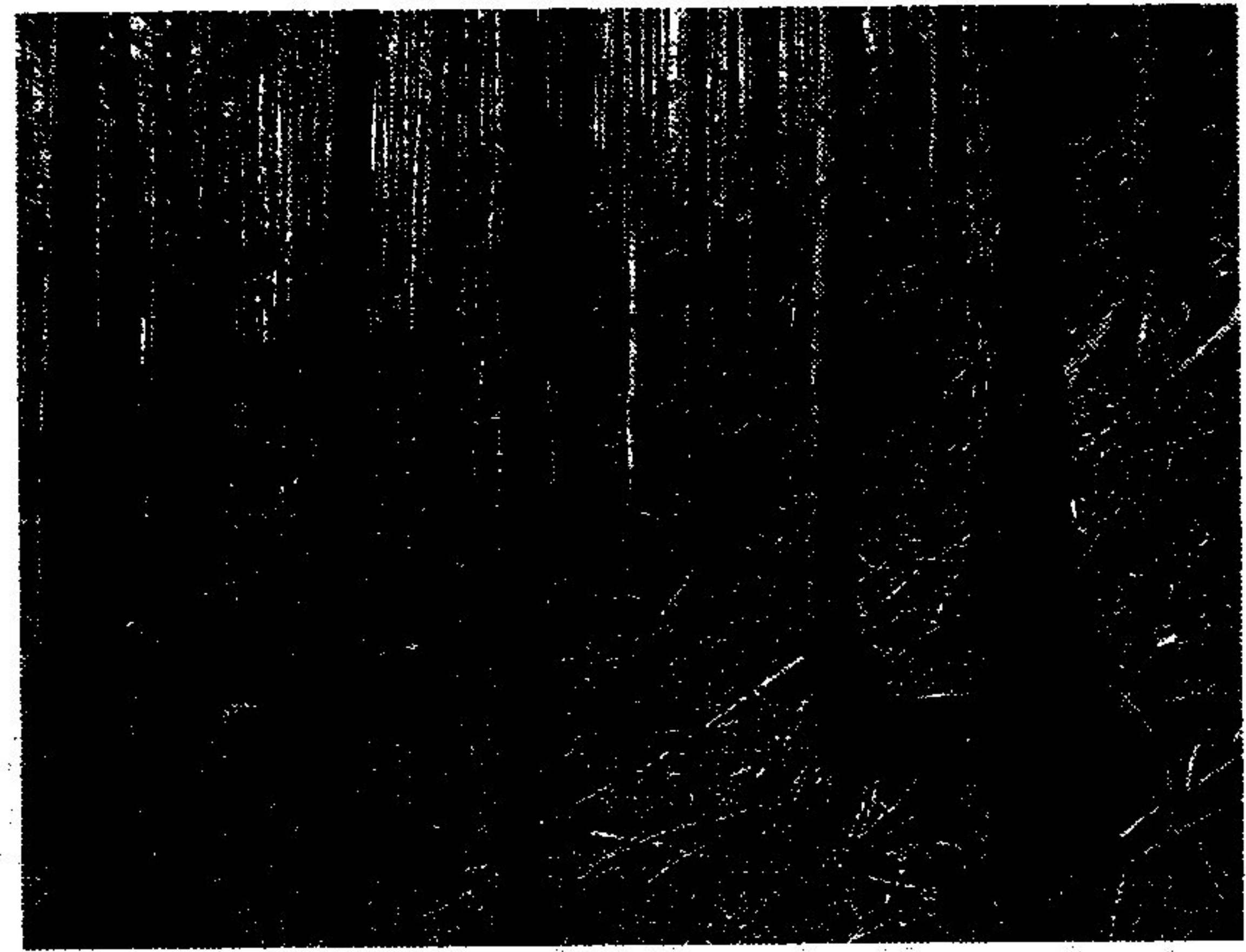
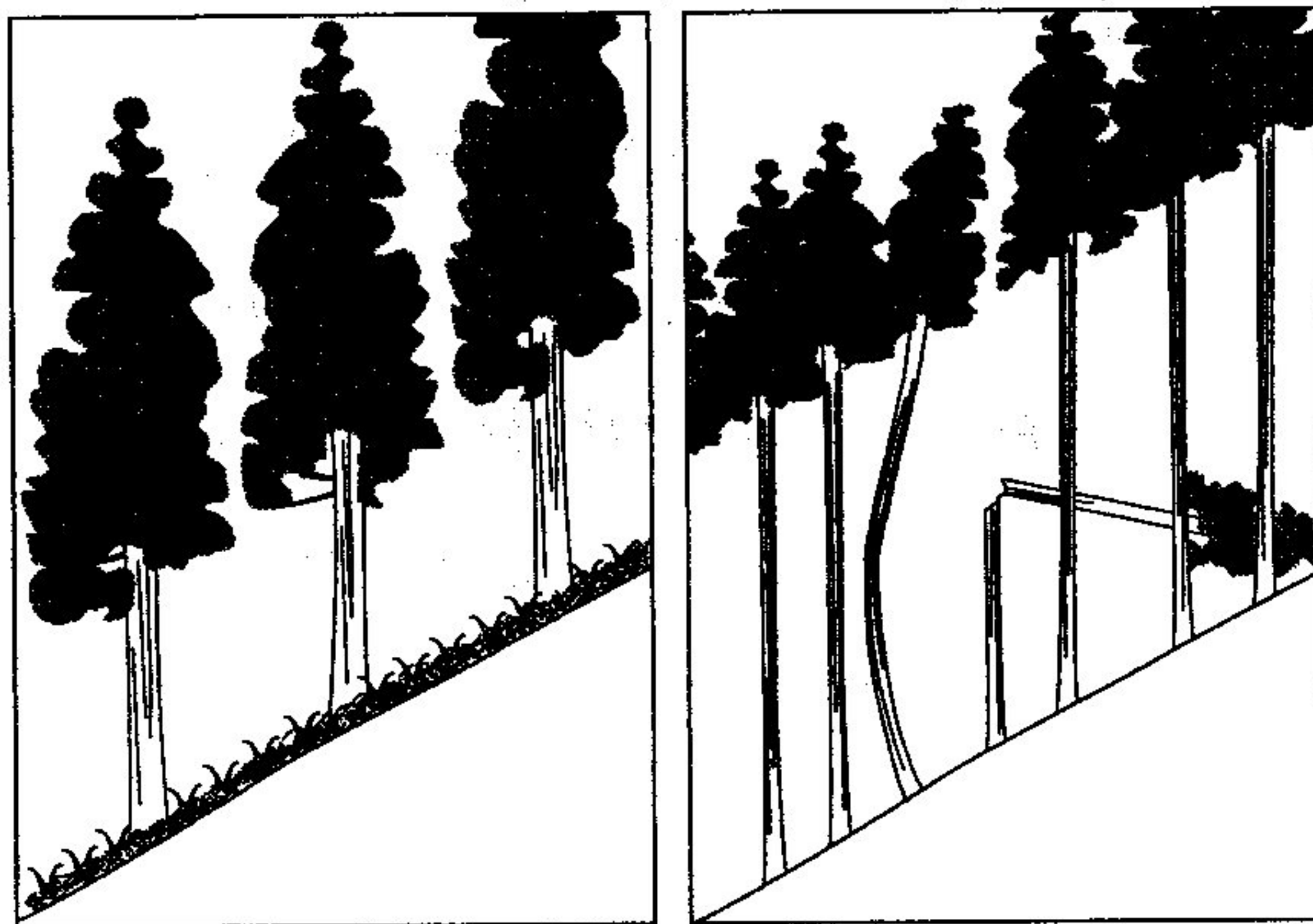
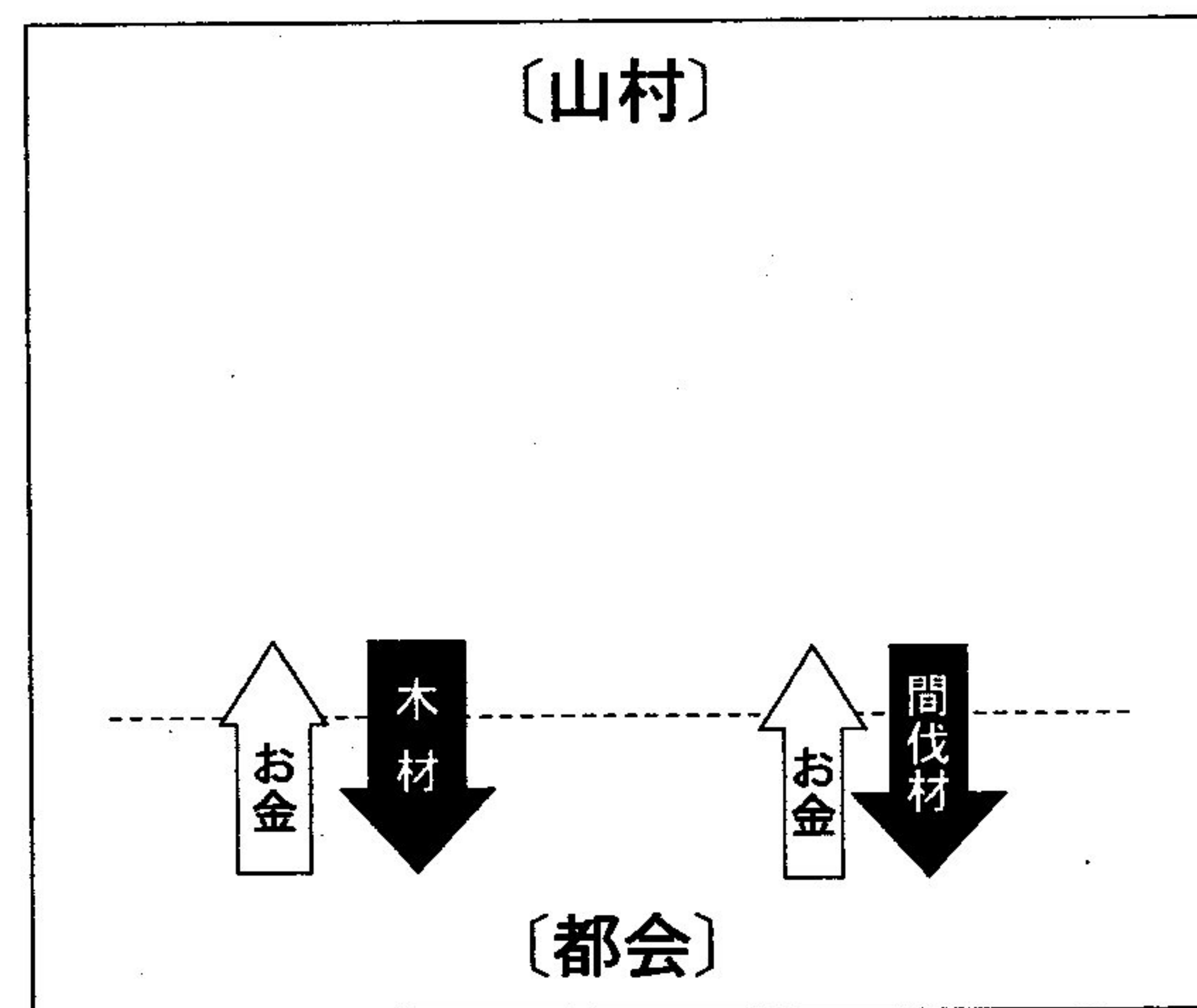


図 4 間伐をした森と間伐をしない森



(徳島県「間伐のすすめ」より作成)

図 5 森のリサイクル



(3) について、間伐をせず、草が生えないと、どのような問題や災害につながると考えられますか。図 4 を参考にして、下の[書き方の例]のように 3 つの段階に分けて、 に入るあなたの考えを書きなさい。

- [書き方の例]
- ① お金が入らない。
 - ② すると、他の仕事を探しに都会へ出るようになる。
 - ③ すると、山村の人口が減る。

※この例は、 にはあてはまりません。

(4) ゆうかさんは、「森のリサイクル」を図 5 のように表そうとしています。資料をもとに、山村での林業の仕事の内容を図に書き加えて、図を完成させなさい。

(5) としきさんたちは、日本で二酸化炭素を減らすためには、山村で森を守るだけでなく、都会に「二酸化炭素のかんづめ」を増やすことが大切だと考えました。二酸化炭素を長期にわたって保管しておくようにするためには、木材や間伐材をどのように使ったらよいでしょうか。木材、間伐材それぞれについて、あなたの考えを 1 つずつ書きなさい。

3 けんたさんの学級では、総合的な学習の時間に、「まちおこし、むらおこし」について考えることになりました。けんたさんの班は、「まちおこし、むらおこし」について、新聞記事やインターネットなどで調べていくうちに、「道の駅」に関心を持ち、資料1～資料4を見つけました。あとの(1)～(3)の問いに答えなさい。

資料1 新聞記事

いばらき
千葉・茨城の道の駅が結束

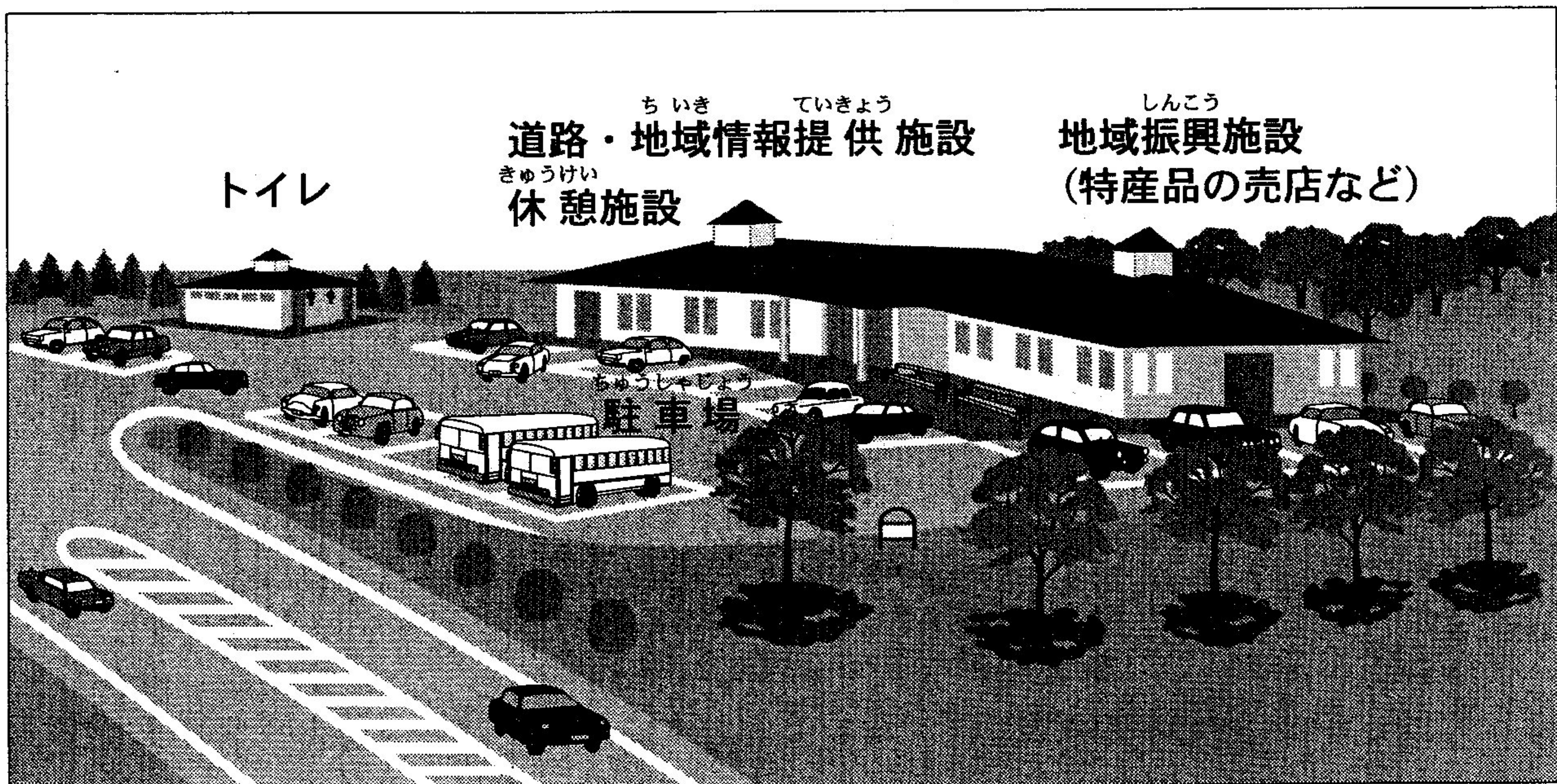
「ちばらき」でまちおこし 限定ロール※企画、新名物に

利根川を挟んだ千葉、茨城両県の道の駅6施設が「ちばらき」をキーワードに掲げ、連携強化に乗り出している。第1弾の新名物として限定商品「ちばらきロール」を企画、3月1日から販売する。連携で先んじる南房総地区の道の駅を意識しつつ、今後、北総地区の“観光の目玉”を各施設の協力で模索していく構えだ。県内では約5年前から南房総市内の道の駅7施設が結束し、販売促進キャンペーンなどを展開、集客につなげている。

※ロール：ロールケーキのことで、「ちばらきロール」は「千葉落花生ロール」と「茨城メロンロール」をセットにしたもの。

(「平成23年2月22日 千葉日報掲載記事」より作成)

資料2 「道の駅」の施設のイメージ



(国土交通省道路局ホームページより作成)

資料3 全国の「道の駅」に関するアンケートの結果

① ドライブにおける「道の駅」の位置づけについて、あてはまるもの

目的の一つであり、事前に調べてから出かける	24.4%
走行中、見かけると必ず立ち寄る	54.0%
特に目的がなければ寄らない	17.5%
その他	4.1%

② 今まで利用した中でもっとも良かった「道の駅」について、良かった理由

- ・地元のおみやげがたくさんあって、店の方の対応がとてもやさしかった。
- ・都内から近いし、品数も充実している。
- ・子どもの遊び場もあり、家族で遊べる。
- ・山の絶景と、水のおいしさに、通りかかったときは必ず立ち寄ります。
- ・お米を買いによく行きます。お食事もおいしい。

(JAFナビホームページより作成)

資料4 「道の駅」に野菜を定期的に出品している、^{にのみや}二宮さん(74^{さい}歳)の話

地域で生産された農産物はその地域で消費されることはすばらしいと思います。自分はUターン*組ですが、農産物を作る土地を借りて、過去に育てたことのある野菜を作っています。わずかでもこの商品が売れていくことは、^{われわれ}我々のような^{こうれいしゃ}高齢者の健康増進につながることであり、この試みは大事なことだと思いますね。都会で生活している時は、安心・安全な商品を選んでいたので、今はその気持ちで商品を作っています。特に減農薬で安全な野菜の生産にこだわっていきたいですね。



道の駅ができて大変良かったです。高齢者の方たちも「生きがいのある生活」ができています。とてもありがたいですね。体が健康な間はできるだけ続けていきたい。虫が喜んで食べた跡^{あと}のある野菜を作り続けたいですね。売上金額より、まず生きがいでしょう。

※Uターン：地方で生まれ育った人が、都会へ移り住んだ後、再び自分の生まれ育った故郷^{こきょう}にもどること。

(道の駅「ピオスおおがた」ホームページより作成)

(1) 「道の駅」がにぎわい、「まちおこし、むらおこし」に役立つようになるためには、どのような人びとに、どのように利用してもらうことが大切でしょうか。
資料1～資料3を参考にして書きなさい。

(2) 資料4に高齢者の健康増進につながるとありますが、それはなぜだと考えられますか。高齢者の生活のようすを具体的に想像して、その理由を「こころの健康」と「からだの健康」の面からそれぞれ1つずつ書きなさい。

(3) 次のようなまちで、あらたに「道の駅」を作ることになったとします。あなたがその「道の駅」の駅長さんになったとしたら、「まちおこし」のために、どのような工夫をしますか。あなたが考える具体的な工夫を1つ書きなさい。また、その工夫から生まれる、まちや「道の駅」利用者への効果も予想して書きなさい(資料2に示されている施設や、下の地図の「道の駅」予定地周辺も自由に活用して考えてみましょう。)

<p>【まちの特ちょう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口が減っている。 ・高齢者が多い。 ・主な産業は農業、林業。 ・まちの中心を国道が通っていて、交通量は多い。 	<p>【「道の駅」予定地周辺の地図】</p>
--	------------------------